

2015年4月8日

国土交通省 大臣 太田 昭宏 様
海上保安庁 長官 佐藤 雄二 様
同 第11管区本部長 長谷川義明 様

日本基督教団 部落解放センター
運営委員長 東谷 誠
活動委員長 岡本拓也
大阪府大東市緑が丘2-16-14
TEL072-875-8470 FAX072-875-8471
E-mail blc@nyc.odn.ne.jp

抗議文

2015年4月6日午後2時40分頃、辺野古沖合で海上保安庁の特殊警備救難艇「ていだ」が、小舟「不屈」に体当たりしたことに対し強く抗議する。

翁長雄志沖縄県知事と菅義偉官房長官が2015年4月5日(日)午前にはハーバービューホテルで会談し、翁長知事が強く辺野古新基地工事中止を求めた翌日、今回の事故をおこした事は、辺野古新基地建設に反対する市民への威嚇・脅迫的行為です。

今回の事故は、操舟の未熟、もしくは故意に危険、乱暴、暴力的な操舵を行った結果であったと考えます。海上保安庁職員は海の安全を守ることが職務ですが、今回の事故が意図的な衝突であるならば、未必の故意による傷害罪はまぬがれません。後日、海上保安庁法ならびに海上交通安全法によって特殊警備救難艇「ていだ」船長・責任者に適正な処罰を下され、「不屈」舟への修理代を含む、損出費用が支払われると思いますが、今後このような事がないうよう心からの謝罪を「不屈」船長と関係者に伝えるように求めます。

今日現在、「不屈」に乗船していた人の怪我や後遺症が報告されていませんが、大事故につながる可能性があります。先月2015年3月11日にも特殊警備救難艇「あるたいる」が抗議船ゴムボートに乗り上げる大事故が起こったばかりです。その他にも海上保安庁職員による過剰警備によって10人以上の市民が怪我をしています。

辺野古沖合で抗議している抗議船やカヌー隊は、平和的かつ安全な方法で表現活動を行っています。どうかこのような危険な過剰警備を即刻止めてください。

自由、平等、平和を求める私たち日本基督教団部落解放センターは、頻繁に起こるこのような事故・暴力を繰り返す海上保安庁に強く抗議します。